



2022年11月2日

各位

会社名 日油株式会社  
代表者名 代表取締役社長 宮道 建臣  
(コード: 4403 東証プライム市場)  
問合せ先 執行役員経理部長 森 知明  
(TEL 03-5424-6600)

2023年3月期通期の連結業績予想修正並びに  
剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想修正に関するお知らせ

当社は、2022年11月2日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月11日に公表した連結業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	213,000	34,500	35,600	25,100	305.69
今回修正予想(B)	220,000	39,000	41,400	32,300	396.57
増減額(B-A)	7,000	4,500	5,800	7,200	
増減率(%)	3.3	13.0	16.3	28.7	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	192,642	35,595	37,624	26,690	323.77

2. 修正の理由

通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績及び第3四半期以降の見通しを踏まえ、前回予想を修正いたします。

第2四半期連結累計期間の業績は、医薬用製剤原料の需要増や機能化学品事業製品をはじめとした適正価格の維持などにより、期初の想定を上回り推移しました。第3四半期以降は、引き続き原燃料価格高騰の継続や半導体不足等の影響が懸念されるものの、機能化学品事業製品およびライフサイエンス事業製品の堅調な需要を見込んでおります。第2四半期連結累計期間までの進捗及び需要見通しにより、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益いずれも、前回発表の予想値を上回る見込みです。

### 3. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想修正

#### （1）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	50円00銭	45円00銭	43円00銭
配当金総額	4,081百万円	—	3,545百万円
効力発生日	2022年12月1日	—	2021年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### （2）期末配当予想修正の内容

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想（2022年5月11日公表）	—	45円00銭	90円00銭
今回発表予想	—	50円00銭	100円00銭
当期実績	50円00銭	—	—
（ご参考）前期実績（2022年3月期）	43円00銭	47円00銭	90円00銭

### 4. 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と認識し、配当額の維持向上と機動的な自己株式取得・消却に努めております。

本日発表いたしました業績、財務状況などを総合的に勘案し、中間配当金は前回発表予想の1株当たり45円から5円増配し50円に修正いたします。また、期末配当予想につきましても、前回発表予想の1株当たり45円から5円増配し50円に引き上げることといたします。これにより、年間の1株当たり配当金は前回発表予想から10円増配となる100円となり、前期実績より10円の増配となります。

（注）上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以上